

基本計画

基本目標 1

豊かな心と人を育むまち

第4次播磨町総合計画

基本計画中間見直し

政策 1 学校教育の充実したまちをつくる

施策 1

幼児教育の充実

取り組みの考え方

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であることを踏まえ、身近な人とのふれあいや自然体験を充実させます。

また、幼稚園・保育園に加えて、就学前の教育・保育ニーズにも対応しながら、子どもの発達・学びの連続性を考慮したきめ細かい教育・保育の一層の充実を図ります。特に、教師と幼児との信頼関係を十分築き、幼児の主体的な活動が確保されるよう、計画的に環境を整備することで、生きる力の基礎を育成します。

現状と課題

- 幼稚園が3園と保育園が4園あります。
- 日常生活の一部として食育を進めています。
- 幼稚園と保育園との連携を図るとともに、就学に向けて小学校との連携が必要となっています。
- 少子化や核家族化の進行等を受け、育児・家庭の教育力の低下が問題となっています。
- 幼保連携、幼稚園における3年保育の充実を図り、今後も引き続き子育て支援に努める必要があります。
- 地域団体との連携を強化し、地域全体で子どもを育てていく体制づくりが必要となっています。
- 子どもの育つ環境が多様化しており、家庭との連携を密にして個に応じた対応が求められています。

政策1 学校教育の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- 1) 幼児の発達段階に応じた指導
 - ・幼稚園・保育園それぞれの特色をいかすとともに連携を密にし、ニーズに対応した保育を推進します。
 - ・集団生活の中で社会性を身につけるとともに、規範意識を育てます。
- 2) 幼児期からの食育の推進
 - ・幼児の食生活の実情に配慮し、食育を推進します。
 - ・子育て支援センターや幼稚園などにおいて、保護者に対して食育講座を実施し、家庭における食育の取り組みを支援します。
- 3) 家庭との連携による保育の推進
 - ・保護者に子育ての楽しさを伝えるとともに、保護者同士の交流を促進し、園と家庭との連携強化に努めます。
- 4) 教職員の資質向上
 - ・各園の研修会を充実させるとともに、各種研修会に積極的に参加し、教職員の資質向上に努めます。
 - ・幼児教育に関する研修講座を企画し、幼稚園教員・保育士だけでなく、小・中学校教員にも受講を促します。

地域の取り組み

- 地域の学校・園へのボランティア活動に参加します。
- 保護者とともに地域の行事に参加し、家族のきずなと地域の人とのふれあいを深めます。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
幼稚園・保育園間の情報交換・連携行事回数	回	1	3	2	4
家庭教育講演会及び研修会参加人数	人	180	200	179*	220
幼児教育・学校教育の満足度	点	3.1	3.2	3.4	3.4

※平成26年度値

取り組みの考え方

すべての子どもたちが、自立して社会の一員として生きていくための基盤である基本的な生活習慣を身につけるとともに、確かな学力を保障し、豊かな心や健やかな体を育成し、生きる力を育てます。

また、学校教育の質の向上を図るとともに、教育の出発点である家庭の教育力を高め、地域全体で子どもを育てるという視点に立った学校経営を行います。

- 小学校が4校、中学校が2校あります。
- 多数の地域ボランティアが学校を見守る活動に参加しており、さらに活動の場を広げたいと考えている人がいます。
- 学校園・家庭・地域の連携協力推進事業を通じて、地域のボランティアが学校を見守る活動等に参加しています。
- 児童生徒の学ぶ意欲・学力・体力の低下、不登校、問題行動の多様化、特別な支援の必要な児童生徒の増加などの課題が指摘されており、子どもたちを取り巻く状況変化を踏まえつつ、新たな教育の構築が求められています。
- 子どもたちを取り巻く状況の急激な変化に対応でき、生涯にわたり自己実現を目指すことのできる知・徳・体の調和がとれた児童生徒の育成が求められています。
- 熟練教師の退職に伴う教師の若齢化により、培われたノウハウが継承されていくための取り組みを進めていく必要があります。
- すべての小中学校において、耐震化工事が完了していますが、今後、校舎等の老朽化に伴い施設の改修を計画的に進めていく必要があります。
- 新学習指導要領に基づいた教育をさらに充実させるための教育環境の整備が必要となっています。

- 1) 「生きる力」を育む特色ある教育の推進
 - ・基礎基本を定着させ、確かな学力を身につけさせるとともに、環境教育、理数教育、情報教育、食育、英語活動、郷土学習などを通じた特色ある学校教育の充実を図ります。

政策1 学校教育の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- ・サポートチーム播磨を構築し、各学校に学校生活サポーターを配置します。学級・学年担当等との十分な連携のもと、きめ細やかな行き届いた教育活動を展開し、児童の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と一人ひとりの個性や能力の伸長を図ります。
 - ・学校保健を充実させ、個に応じた体力運動能力を向上させます。
- 2) 個に応じた指導の充実
- ・特別支援教育^{*4}などを通じて、子ども一人ひとりに応じた適切な指導を行う教育を推進します。
 - ・特別支援教育・不登校対策をはじめ、さまざまな学習面・生活面での支援を必要とするすべての子どもに対応するために必要な人的配置を進めます。
- 3) 家庭や地域との連携による教育の推進
- ・家庭での学習に関する情報提供や家庭教育に関する啓発資料を作成し、啓発に努めます。
 - ・教育活動にボランティアが参加できる体制づくりを進め、地域と連携した教育を推進します。
- 4) 教職員に対する研修の実施
- ・質の高い教育を目指して教職員対象の研修会等を実施し、新しい時代に対応できる情熱をもった人間性豊かで指導力のある教師を育てます。
- 5) 安全・安心で充実した教育環境の整備
- ・老朽化した校舎等の大規模改修について、計画的に実施することにより適正な維持管理に努めます。
 - ・学校図書館教育の充実や、ICTの環境整備を進め、教育環境の向上に努めます。

地域の取り組み

- ボランティアの一員として学校の活動に参加し、地域の子どものつながりをもつとともに、子どもを見守る目を増やします。
- 登下校の見守り・放課後活動にも積極的に参加します。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
町内小中学校の 学校評価の平均点	点	3.3	3.5	3.3 [*]	4.0
不登校生徒数	人	43	30	43 [*]	20
学校へのボラン ティアの参加人数	人	420	440	472	480
幼児教育・学校教 育の満足度	点	3.1	3.2	3.4	3.4

※平成26年度値

取り組みの考え方

家庭や学校、地域社会において、青少年が社会の一員としての自らの役割と責任を自覚できるよう、地域における青少年の社会参加を促進します。

- 家庭教育力向上や青少年健全育成のため「家庭教育推進委員会」や「青少年問題協議会」において、各種団体が情報共有や意見交換を行い、啓発を行っています。
- ニート^{※5}、フリーター、ひきこもり、非行、不登校などの青少年の置かれている現状を把握し、次世代を担う青少年の育成に努めることが求められています。
- ネットいじめやネット依存など、子どもを取り巻くネット社会には多くの危険が潜んでいます。
- 子どもの数の減少に伴い、地域での子ども同士の活動やつきあいも減ってきており、交流機会が必要となっています。
- 体験教室や情報提供を行っています。学生や若い世代のボランティア活動への参加を進めることが必要となっています。

政策1 学校教育の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- 1) 家庭の教育力の向上
 - ・青少年健全育成の原点である家庭の教育力を向上させるため、子育ての支援や家庭教育のあり方などについての啓発を充実します。
 - ・問題行動を抱える青少年やその家族などへの相談、指導などの支援体制の充実を図ります。
 - ・支援活動を行う団体と家庭をつなぐ取り組みを進めます。
- 2) スポーツ・文化活動や地域などの活動を通じた青少年の健全育成
 - ・スポーツ・文化活動を通じて青少年の社会性を養うとともに、自己表現や社会参画などの支援体制の確立を図ります。
 - ・体育館、コミュニティセンターなどの施設において、青少年育成のためのさまざまな活動を推進します。
- 3) 家庭、学校、地域の連携による青少年の健全育成
 - ・学校や地域の関係機関・団体と連携しながら、不登校、ひきこもり等に対する家庭への支援を進めます。
 - ・ネットの危険から子どもを守るため、学校・家庭・地域が役割に応じて、フィルタリング^{※6}の普及や適正使用の啓発を進めます。支援活動を行う団体間の交流を深め、連携を強化する取り組みを進めます。

地域の取り組み

- 家庭、学校、地域及び関係機関などの連携により、地域で共通目標を設定し総合的な取り組みを行います。
- 警察、地域、学校、保護者が協力し、補導活動を行うとともに、少年補導委員会等により青少年に悪影響を与えている環境の浄化を図ります。
- 社会人としてのマナーをもてるよう、地域の中でもさまざまな場面で声をかけたり、注意をします。
- 子どもの教育や地域活動、行事に参加し、地域や親同士のつながりを深め、世代間交流を図ります。
- 家庭で子どもの携帯電話の使用のルール化を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
中高生のボランティア参加者数	人	110	140	179	180
青少年の健全育成の満足度	点	2.8	2.9	3.1	3.1

施策1

生涯学習の充実

取り組みの考え方

生涯にわたり、いつでも、どこでも、誰でもが自主的に学ぶことができる生涯学習の総合的な推進体制の整備を図り、生涯学習社会の実現を目指します。

現状と課題

- 中央公民館やコミュニティセンター、各スポーツ施設で芸術・文化・スポーツ活動が行われています。
- 生涯学習を推進するためには、住民がいつでも、どこでも自由に学習できるよう、ニーズに対応した情報の提供が求められています。
- 学んだことを生かし、指導者やリーダーとして活躍できる仕組みが必要になっています。
- 社会教育施設はいずれも建築から年数が経過しており、適切な維持管理による長寿命化が求められています。

行政の取り組み

- 1) 生涯学習の計画的な推進
 - ・いつでも、どこでも自由に学習の場を選択でき、その成果がいかされるよう、生涯学習推進計画の周期的な見直しを行い、計画的に生涯学習を推進します。
- 2) 各年代に応じた学習機会の拡充
 - ・各年代や段階に応じた各種講座や講演会などを充実するとともに、サークルの自主活動や高校・大学で行われている公開講座などの情報を提供し、学習機会の拡充を図ります。
- 3) 多様なニーズに対応できる活動の場の整備
 - ・うみえーる広場、あえのはま広場等を新設するとともに、既存施設の老朽化対策に努めます。

政策2 学べる環境の充実したまちをつくる

地域の取り組み

- 事業の企画・運営・広報などを行う委員会に委員として参加したり、ボランティアとして指導のスタッフに加わります。
- 与えられた項目から『選ぶ』のではなく、自らが『何を学びたいか』、その達成には『どうすればよいか』を考え、行動します。
- 公民館活動などで培った技能・知識・経験をいかしてまちづくりに参画します。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
各種登録サークル 団体数	団体	174	190	189	220
生涯学習の推進の 満足度	点	2.9	3.0	3.1	3.2

取り組みの考え方

個人や団体のスポーツ活動を支援し、適切な指導者の発掘・育成を図るとともに、継続的にスポーツ活動に親しめる受け皿として、スポーツクラブ21 はりま（総合型地域スポーツクラブ）との連携を図ります。

- 近年、自由時間の増大や高齢化の進展に伴って、健康づくりなどを目的としたスポーツへの関心は高まりつつあります。
- 体育協会や各種目団体が、スポーツ施設や学校などで活動していますが、住民の中でスポーツを全くしない人の割合も高く、二極化しています。
- スポーツ施設はいずれも建築から年数が経過しており、適切な維持管理による長寿命化が求められています。
- スポーツをする立場だけでなく、見る立場、支える立場に応じた環境整備や情報提供、人材育成が必要となっています。
- 生涯スポーツや地域スポーツの振興を図るため、計画的な取り組みを推進することが必要となっています。

政策2 学べる環境の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- 1) 生涯スポーツの振興
 - ・各年代、段階に応じた事業や、障がいのある人や高齢者など誰もが参加できる事業を展開し、多くの住民のスポーツ参加を促進します。
 - ・指導や運営についてボランティアの参加と協力を求めるとともに、関係団体などとの連携強化を図ります。
- 2) スポーツクラブ21 はりまの活動促進
 - ・スポーツクラブ21 はりまの管理により施設利用の調整を円滑に行い、活動促進を図ります。
 - ・スポーツクラブ21 はりまとの連携を図ります。
- 3) スポーツ施設の適正な維持管理
 - ・スポーツ施設の改修などを計画的に進め、適正な維持管理に努めます。
- 4) 播磨町スポーツ振興計画の策定
 - ・生涯スポーツや地域スポーツの振興を図るため、スポーツの振興に関する総合的な計画を策定します。

地域の取り組み

- スポーツクラブ21 はりまの活動に有償スタッフやスポーツボランティア等として参加します。
- 積極的にスポーツクラブ21 はりまの活動に参加します。
- スポーツに関する認定資格をもつ医師が、地域住民の健康相談やスポーツ傷害等の医療面で積極的にスポーツクラブ21 はりまの活動に参加することが期待されます。
- スポーツ活動に参加するとともに、スポーツを通じた世代間交流を促進します。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
スポーツ施設の利用者数	人	281,893	285,000	268,212	290,000
スポーツクラブ21 はりま登録者数	人	4,350	4,500	4,023	5,000
スポーツ活動の推進の満足度	点	3.2	3.3	3.2	3.5

取り組みの考え方

住民による芸術・文化活動を促進するため、自主的な活動を支援するとともに、近隣市町との連携を図ります。

また、住民にとって、図書館がより一層身近な場となるよう、イベントなども併せて、図書館の機能を充実します。

- 文化協会、美術協会、菊花会など、各種団体が中心となり、中央公民館、各コミュニティセンターにおいて文化祭、サークル発表会、美術展、菊花展など芸術・文化事業を実施しています。
- 学校において、子ども美術展や芸術鑑賞会を実施しています。
- 文化団体の構成員の高齢化と固定化によって、組織の存続が危惧されるとともに、自主的で積極的な活動の継続が困難な傾向にあります。
- 新規に参加しやすい環境を作り、個人や団体の自主的な芸術・文化活動を支援する必要があります。
- 図書館では、貸出冊数は減少傾向にありますが、イベントなどを通じて利用者は多くなっています。

政策2 学べる環境の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- 1) 芸術・文化活動の振興
 - ・個人や団体・グループなどの自主的な芸術・文化活動の振興を図るため、積極的な支援や啓発活動を行います。
 - ・近隣市町と連携し、各種行事の情報交換、広域的な行事参加などにより交流を深め、芸術・文化の振興を図ります。
- 2) 子どもの芸術にふれる機会の創出
 - ・学校教育などを通じて、芸術・文化にふれる機会をつくります。
- 3) 図書館の利用促進
 - ・蔵書を充実させるとともに、読書習慣の定着に結びつく取り組みを進めます。
 - ・本に親しむ場所として、施設の適切な維持管理に努めます。
 - ・電子図書館サービスを導入し、図書館の利用をさらに手軽で身近なものにします。

地域の取り組み

- 芸術・文化活動に興味をもって参加します。
- 中央公民館、コミュニティセンター、地域などのイベントの企画・運営に協力し、参加します。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
図書の貸し出し数	冊	392,503	400,000	314,033	430,000
播磨町美術展の来場者数	人	1,038	1,300	1,377	1,600
文化・芸術の振興の満足度	点	3.2	3.3	3.2	3.5

取り組みの考え方

国指定史跡である大中遺跡をはじめ、今里傳兵衛やジョセフ・ヒコの生誕地などの貴重な歴史的資産の保存及び活用に引き続き努めていくとともに、文化財の調査収集・展示などをはじめ、研究報告書の出版などにより、文化財の保護・愛護意識の啓発に努めます。また、県立考古博物館との連携をより一層強化し、大中遺跡の活用について町と住民が協働して取り組みます。

- 国の指定史跡として「大中遺跡」があり、県の指定文化財も「愛宕塚古墳」「阿閉神社本殿」の2件が指定されています。
- 町指定文化財については、ジョセフ・ヒコ発行の「海外新聞」をはじめ、仏像・建造物・民俗文化財など多数指定しています。
- 郷土文化財の調査・収集・研究を進め、活用することで、文化財の保護意識や郷土への愛着を育てる必要があります。
- 平成19年に県立考古博物館が開館し、大中遺跡を訪れる人が増加しています。
- 大中遺跡をはじめとする貴重な歴史的資産を広報・啓発することが求められており、身近な歴史をホームページ等で紹介する必要があります。
- 住民交流・情報発信の場として、大中遺跡まつりを開催しています。

政策2 学べる環境の充実したまちをつくる

行政の取り組み

- 1) 文化財の調査・研究及び収集・活用
 - ・郷土資料館を中心として、貴重な歴史的資産の保存管理に努めるとともに、調査研究を進めます。郷土への誇りと愛着を育むため、文化財の活用に取り組みます。
 - ・ジョセフ・ヒコを紹介するため作成したアニメ映像や収集した新聞資料の活用を進めます。
- 2) 文化財保護・愛護意識の啓発
 - ・広く文化財の愛護意識の高揚を図るため、啓発活動を推進するとともに、無形文化財の保護、継承のための後継者の育成を支援します。
- 3) 播磨町の文化・歴史の発信
 - ・歴史・文化資源に関する資料を整理し、さまざまな情報ネットワークを通じて発信していきます。
 - ・県立考古博物館との連携により、郷土資料館の展示物や展示内容の検討を行い、播磨町の文化・歴史を発信していきます。
 - ・ふるさとの先覚者顕彰会の活動を支援し、町の先覚者についての情報の発信に努めます。
 - ・特色ある古代まつりとして、大中遺跡まつりを全国に発信します。

地域の取り組み

- 文化財をいかす活動に参加します。
- 地域の文化財の保護・愛護意識の啓発に取り組みます。
- 大中遺跡まつりに参加します。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
郷土資料館ホームページアクセス件数	件	2,977	3,200	10,726	12,000
郷土資料館の入館者数	人	46,433	55,000	71,021	75,000
大中遺跡まつりの来場者数	人	25,000	27,000	35,000	40,000
歴史的資源の保全の満足度	点	3.4	3.5	3.4	3.7

2011 「播磨町いいところ写真」



撮影場所：大中遺跡公園



撮影場所：であいの道



撮影場所：ふるさと橋